

# ビバ! メキシコ2011

マリアッチの名手たちによる華麗な競演



太陽の国メキシコを象徴する、陽気なマリアッチ楽団が、待望の再来日。前回、日本・メキシコ友好400周年記念で実現した2009年公演の好評を受け、ラテンの名曲をちりばめ、色鮮やかなステージをご堪能いただけます。

日本でも多くのファンを持つ、メキシコ音楽の花形“マリアッチ”楽団は、もともと太平洋に面したハリスコ州のフォークダンス伴奏で活躍したスタイルです。金銀の刺繍飾りをほどこした豪華な上着とズボン、大きなつばを持つソンプレロ（帽子）にスカーフ姿は、この土地独特の、チャーロと呼ばれる牧童の正装。楽器の基本編成は、ヴァイオリン、ギター、小型ギターのビウエラ、低音域を担当する大型ギターのギタロン。1910年代、さらにトランペットが加わり華やかさを増しました。

1930年代頃、土地の祝祭に欠かせないにぎわいの民族楽団は、首都メキシコシティへと進出。街のいたるところで奏でられるようになっていきました。おのずと奏法や音色も変化し、もはやメキシコの情感をかもしだす代表的なサウンド、国際的な楽団として、広く大衆にいつくしまれています。メキシコシティのガリバルディ広場は、通称マリアッチ広場と呼ばれるほどで、マリアッチ楽団が集結する拠点のひとつです。

マリアッチ・デル・ソルは、ギターリスト&ヴォーカリストのミゲル・アンヘル・エルナンデス率いる7名編成の楽団で、グループ名は“太陽のマリアッチ”を意味します。原点ハリスコ州の郷土愛にみちたレパートリーや、窓辺で恋人へ向けて思いを伝える、

ロマンティックなセレナーデの伝統ソングなど、情熱と哀愁たっぷりの名曲を披露します。

また、メキシコ生まれの有名なボレロ曲「ベサメ・ムーチョ」や「ソラメンテ・ウナ・ベス」ほか、メキシコ発で世界に紹介された定番ソング「キサス・キサス・キサス」「キエン・セラ」、メキシコ湾岸ベラクルス地方を代表する「ラ・バンバ」など、たっぷりとお届けします。

日本語が得意な人気女性歌手のビビアーナ、ダンスカップルのカルロス&マリセラが民族舞踊を披露し、陽光あふれる痛快、華麗なステージを盛り上げます。

出演者 マリアッチ・デル・ソル (楽団7名)、ビビアーナ (女性歌手)、カルロス&マリセラ (ダンスカップル)

予定曲目 グアダラハラ、エル・マリアッチ・ロコ、ベサメ・ムーチョ、キエン・セラ、キサス・キサス・キサス、他

予定開催地域 九州19都市